

文化

古書の楽しさ知って

ノンフィクション作家

黒岩さん新刊イベント

近代日本史を掘り起す謎
題作を次々と執筆してきたノ

ンフィクション作

家黒岩比佐子さん

「写真」が、古書

店通いで出会った

魅力的な本を紹介

する「古書の森」

道通」(今工作舎)を二十日に
刊行する。これに合わせ、関
連する古書や黒岩さん推薦の
「明治本」を紹介する展示会
とブックフェアが、各地で開
かれる。

黒岩さんは昨年秋にがんを
告知され、治療を受けながら
執筆活動を続けている。縁の
ある編集者らが支援グループ
「黒岩比佐子ポーターズ」
を結成し、出版社や書店の枠
を越えた大掛かりなイベント
を企画した。

黒岩さんの古書店通いが本
格化したのは十年ほど前。

「食道楽」の人、村井英道

(サントリリー学芸員)、「編集

者 国木田独歩の時代」(角

川財団学芸員)などの執筆で

必要が明治期の古書を探した
め、即売会に通い始めた。今
回の本は、これまでインタビ
ネットのブログで紹介した古
書約七百七十冊のうち、二百
二十冊を選んで加筆。明治か
ら昭和の出版文化の動きとと
もに、黒岩さんが通って来た
「戦争とジャーナリズム」
「食と健康」などのテーマを
浮き彫りにする。

関連する古書を表示する



「明治の愛しき雑書たち」が
二十日から二十六日まで、東
京都千代田区の東京古書会館
で開かれる。二十六日には同
会館で黒岩さんと古本ライタ
ー岡崎武志さんのトーク(料
金千円)。千代田区立図書館
では「歌麿伎成タラフィック
ス」を二十日まで開催中。

本店で「明治ファンタジーラン

ド」、東京堂書店やぐるろ店

で「ニッポン食

道楽」とそれぞ

れ題し、黒岩さ

んが選んだ本の

フェアが七月に

かけて開かれ

る。北海道小樽

市の小樽文学館

や愛知県犬山市の明治村など
でも展示が計画されている。

「無理じゃないで」とよく言
われるんですが、無理をしな
いで仕事ができるわけない」
と笑顔をみせる黒岩さんは
「明治期の雑誌はユーモアの
センスやデザイン感覚がす
ごく面白い。今ある雑誌の原
型はすべて明治にある。電子
書籍の話題で仲間がにぎわう
ときに、百年前の古書に顧客
がどんな感想を持つのか楽し
みです」と話す。秋には「日
本の社会主義運動の父」とさ
れる野村胡堂の評伝を刊行する
予定だ。

イベントの問い合わせは工
作舎(電話03・35333・70
5111へ)。

(石井敬)